



取扱説明書

この度は、OM-65S：フルードマイスターⅣをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、作業前に必ず本取扱説明書をお読みいただき、
内容を十分にご理解いただいた上で、注意事項を厳守してご使用ください。

適応

軽自動車から小型トラックのブレーキフルード補給

⚠ 危険：重要 車両整備士以外の取り扱い厳禁！

内容品



| 図番 | 商品名 | 型式 |
|----|-----------|-----------|
| 1 | 本体 | OM-65S-1 |
| 2 | マグネット | OM-65S-2 |
| 3 | パイプハンガー | OM-65S-3 |
| 4 | 充電器 | OM-65S-4 |
| 5 | スポイト補助ボトル | OM-65S-SB |

⚠ 注意事項

- **ブレーキフルード専用**です。それ以外では使用できません。
- **氷点下**では使用できません。
- フルードを入れたままで保管しないでください。フルードが劣化します。
- センサー部には汚れを残さないでください。
- タンク内の**フィルターは消耗品**です。汚れがひどい場合は交換してください。
- 充電電池を内蔵しております。過放電にならないように定期的に充電を行ってください。

スペック

| No. | 電源 | タンク量 | 吐出量 | ホース長 | 本体サイズ | 重量 |
|--------|----------------------------|------|----------|------|-----------------------|-------|
| OM-65S | 1. 充電式内蔵バッテリー 2. AC100V | 5ℓ | 0.7L/min | 2m | 300mm × 170mm × 320mm | 1.6kg |

ご使用いただく前に

初めて使用する前には以下の準備が必要です。

- 1

タンク左右にあるタンク固定フック (2ヶ所) のロックを外してください。

- 2

本体 (フタ) を持ち上げ、ホース先端の黒いキャップを外します。この際、出荷前の作動テスト用のブレーキフレードが多少垂れることがありますが、故障ではありません。

フィルターは消耗品です。
ゴミ詰まりにより吸引力が弱まった場合は、フィルターを取り外し定期的にエアブローを行うか、部品交換が必要です。(部品番号: OM-35-57)

- 3

タンクに新しいフレードを入れ、フタを元に戻して準備完了です。

フレードを満タンに入れると、持ち運び時にこぼれます。タンクの半分くらいまでが丁度良いです。

使用前点検



供給・逆転を切り替えた際に、起動前にスイッチ LED が点灯します。点滅回数によって電池の残量が分かるようになっておりますので、以下の点検を行ってから作業にあたってください。

| 点滅回数 | 状態 |
|------|---|
| 3回 | 十分に充電がされているので、そのまま使用できます。 |
| 2回 | 使用後に充電を行ってください。 |
| 1回 | 直ちに充電を行ってください。 (充電しながらの作業も可能です。) |

充電方法

- 1

充電器をコンセントに差し込みます。充電器のランプが**緑色**に点灯することを確認してください。

- 2

充電器を本体の充電ジャックに差し込みます。

- 3

充電が開始されると、充電器のランプが**赤色**に点灯します。満充電になると充電器のランプが**緑色**に点灯します。

セット方法

1



フルード交換の場合は、スポイト等でリザーバータンク内の古いブレーキフルードを吸い取ります。



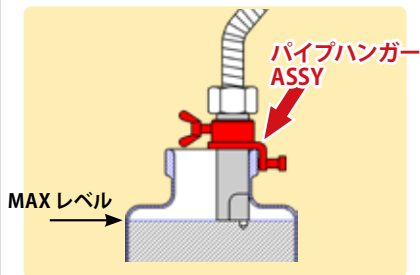
本製品の吸引機能は使用しないでください。
新しいフルードに汚れたフルードが混ざります。

2



マグネットを車両の金属部分に固定してください。
固定する際に、先端のセンサー部がフルードタンクの位置になるように調整してください。

3



センサーの先端部を液面の MAX 付近に合わせ、パイプハンガー ASSY で軽く固定します。

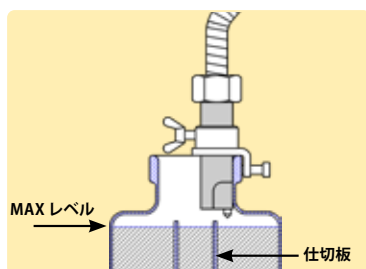
4



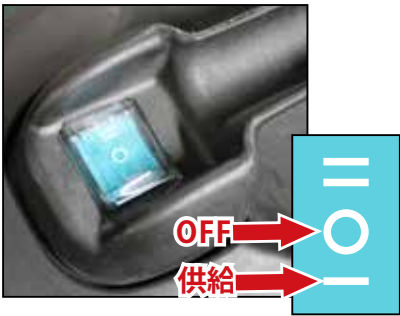

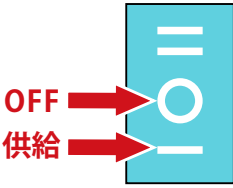
マグネットとホースの固定に無理が生じている場合は、マグネットの再固定及びホース接続部の S カンをずらして位置の調整を行ってください。



リザーバータンクの種類により内部に仕切り板が高い位置にあるものは供給したブレーキフルードがリザーバータンク内で均等に液面が上がらないため、センサーの位置を MAX レベルより少し上にセットして溢れないように確認してから作業に入ってください。



作業手順

| | | |
|----------|---|--|
| <p>1</p> |  | <p>本体（フタ）にあるスイッチを供給（－）側に押し、新しいフルードが供給されます。フルードが供給されるときにモーター音が聞こえ、スイッチ LED が点灯します。</p> |
| <p>2</p> |  | <p>リザーバートankからブレーキフルードが溢れない適度な液面レベルで供給が停止されることを必ず確認してください。</p> <div style="background-color: yellow; padding: 5px; border: 1px solid black;"> <p>! 作業始めはセンサーが液面を感知して供給が停止することを確認するまでは、すぐに OFF（○）に出来るようスイッチに指を掛けておいてください。</p> </div> |
| <p>3</p> |  | <p>エア抜き作業を開始してください。作業が終了した時にスイッチを供給（－）から OFF（○）に戻します。スイッチを OFF（○）に戻すとポンプが自動で逆転しホース内の液体の吸引が開始されます。液ダレ防止の為 3 秒程で吸引は完了します。</p> <p>片付ける際には吸引が完了したのを確認してから行ってください。（モーター音が止まります。）</p> |

手動でポンプを逆転する方法



作業終了後、リザーバーの液面レベルが MAX レベルを超えている場合、スイッチの逆転（＝）を押して超えている分を吸引してください。

また、収納時にホース内の残留フルードも吸引できます。

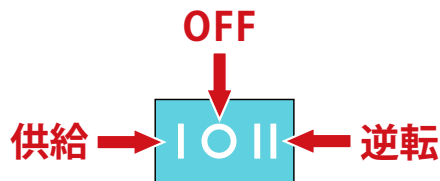
吸引が終わりましたらスイッチを OFF（○）に戻します。

! 汚れたフルードは絶対に吸引しないでください。故障の原因となります。

トラブルシューティング

スイッチ部

スイッチ部名称は右図をご参照ください。



| 症状 | 考えられる対策として |
|---|---|
| スイッチを供給 (-) から OFF(O) に戻した時にモーターが作動する | ホース内のフルードを吸引しております。正常な動作の為問題ありません。 |
| スイッチを供給 (-) や OFF(O) 側にしてもフルードが出てこない (モーター音が聞こえず、スイッチが点灯しない) | 完全に放電している可能性があります。本体の充電を行ってください。(P.2【充電方法】参照) 充電後も症状が変わらない場合は販売店に修理を依頼してください。 |
| スイッチを供給 (-) や OFF(O) 側にしてもフルードが出てこない (モーター音が聞こえ、スイッチが点灯する) | ポンプが空井戸状態となっており、吸引をしなくなっています。添付のスポイト補助ボルトを使用し、給水作業を行ってください。 |
| スイッチを逆転 (=) に押してもフルードが出てこない | 吸い込み動作を行っております。スイッチを供給 (-) 側に押してください。 |
| 保管するときにホース内のフルードが漏れてしまう | お手数ですが作業完了後に手動での吸引を行ってください。 (P.4【手動でポンプを逆転させる】参照) |

保証に関して

保証条件について【ご購入後1年間】

品質的または技術的な欠陥品は、欠陥品返品修理の手順に基づき修理または新品交換致します。

欠陥品かどうかの判断は発売元が決定いたします。

当保証は、事故・不正使用・交換・意図されている目的以外での使用、または取扱説明書に従わなかった場合の損傷につきましてはいかなる保証も致しません。当保証は正式な販売店から購入された物に限定させていただきます。当保証を譲渡や移転する事はできません。発送時に発生した損傷については送付側の責任となります。返却品・輸送方法は販売店の許可が必須条件となります。

返却時の注意事項

返却品の輸送方法は販売店の許可が必要で、運送会社の指定等がありますので必ずお問い合わせの上、お送りください。

返却の際は、必ずフルードを空にして本体をビニール袋で密閉してから発送してください。

フルードが漏れると他の集配物に被害が及びます。

送り主の損害賠償責任となりますので厳守いただけますようお願い申し上げます。

尚、返却時に発生した損傷につきましては当保証では対応できません。

送付側の責任となりますのでご注意ください。